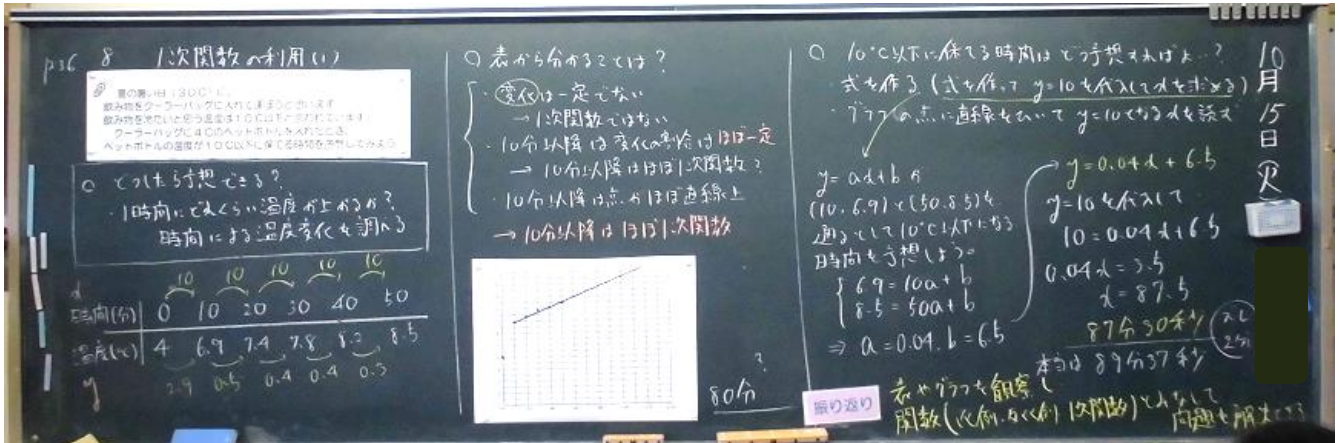


久喜市立久喜中学校

数学

単元名 1次関数(中学2年)



本時はクーラーバッグに入った飲み物の温度の変化について考える授業でした。生徒にとって身近な素材を扱った授業であり、日常生活の中にある問題を解決する授業ということで、どの生徒も、意欲的・主体的に授業に取り組んでいました。

授業者はクーラーバッグに飲み物を入れた実験を実際に行い、その様子を撮影した動画を使って問題提示を行いました。

参会者アンケートから(研究会のあり方・全体的な感想)

【授業について】

- 大型ディスプレイを使って映像資料を提示することにより、生徒に問題場面をイメージさせたり思考を促したりしていました。
- 時間をかけて授業準備をしていて、導入から展開、発展までとても充実していました。
- 普段、「日常生活」と「数学の世界」をリンクさせようとするのですが、うまくつながらなかったり、生徒に伝わらなかったりすることもあったので、今日の授業は大変参考になりました。



○教科書にある課題を工夫し、生徒にとってとても魅力的な、おもしろいものになっていました。課題解決的な授業は準備が大変ですが、生徒にとっては学習した知識を生かすチャンスだということを改めて感じました。

○今日は、教科書の中で「扱いづらい」と思っていた内容でしたが、とてもおもしろい授業を提案していただきました。

○私も2年生を担当していて、「1次関数とみなす(1次関数とみる)」問題を扱った授業は難しいと感じていました。今日のような授業を行うことで、子供たちはより深く学びに向かうことができるのだと分かりました。



【研究協議について】

○それぞれの視点について、たくさんの角度から考えることができ、勉強になりました。

○協議では他の先生の実践等について聞くことができ、今日の授業についての理解を深めることができました。自分の授業力の向上につながると感じました。



○いろいろな意見を聞くことができ、自分の授業に生かせる点が多くありました。明日から、少しずつ実践していきたいです。

○様々な視点で協議をすることができました。学び合いの雰囲気をつくるための、新しい手法を知ることができました。自分の実践に生かしていきたいです。



○自分にはない視点の意見も聞くことができたので、参考になりました。自分の授業にも取り入れていきたいと思いました。

